

「This scenery is What you action.」

耕す！はぐくむ！チャレンジ北杜プロジェクト 概要版

私たちが暮らすこの素晴らしい景色は、あなたの行動で決まります。

「This scenery is What you action.」



耕す！はぐくむ！チャレンジ北杜プロジェクト

「You are What you eat.」

私たちの体は、毎日口に入れる食べ物によってはぐくまれています。

これと同じように、食べ物も土の中に入れる肥料によってはぐくまれています。

どちらも、“選択”を誤ることで、様々な障害をもたらします。

よくよく考えると、私たちが暮らす環境も私たちの暮らし方の中ではぐくまれています。

つまり、今起きている様々な世界的に取り組まなければならない問題は、

私たち人間の暮らし方（生活習慣）の変化で起こっているものと考えております。

食のあり方や食を育てる環境のあり方、また食を通じた暮らし方を見つめ直し、

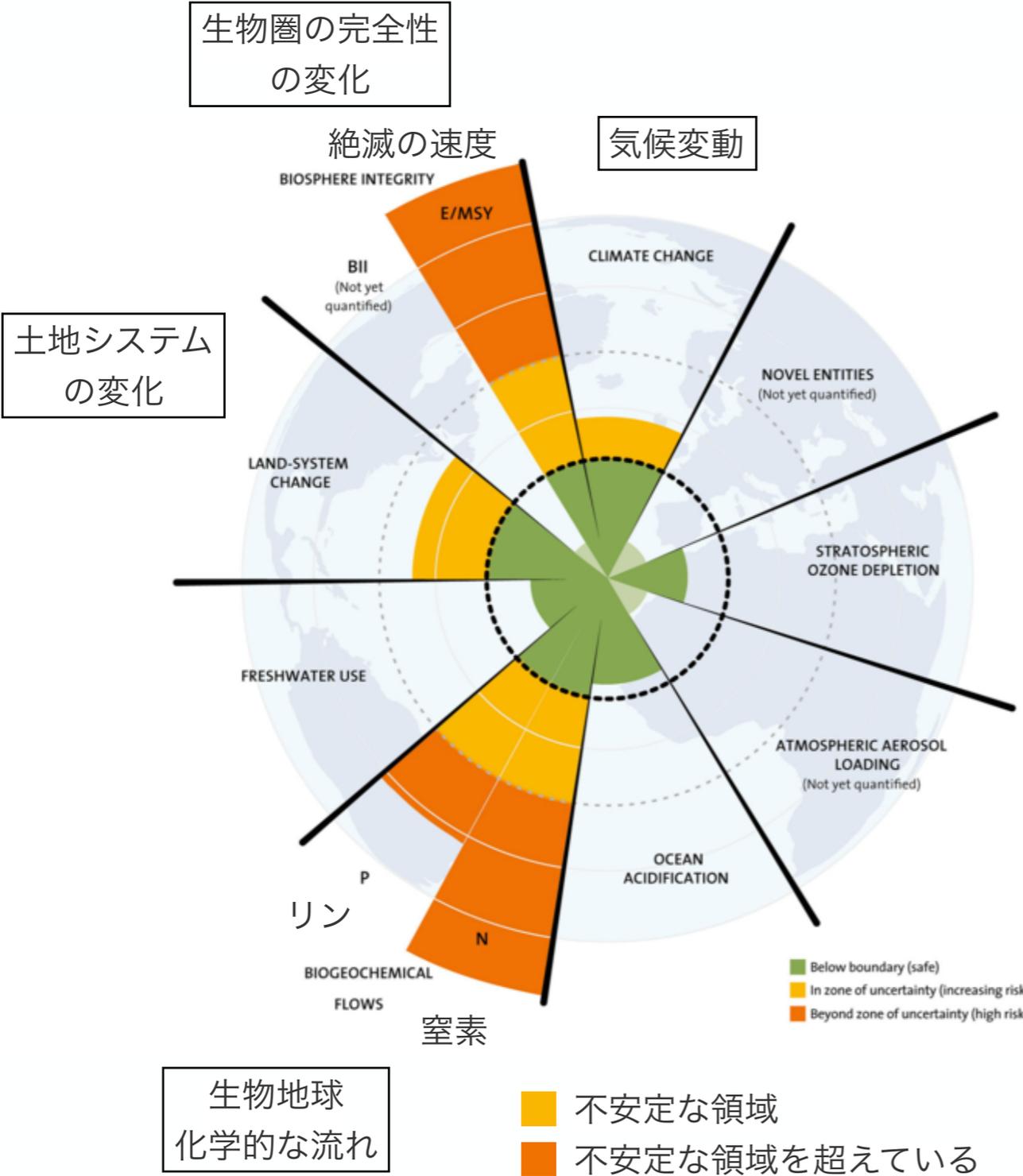
土を耕し、種をまき、ひとつ、ひとつチャレンジすることで、

今起きている様々な問題を解決できるのではないかと考え

耕す！はぐくむ！チャレンジ北杜プロジェクトを立ち上げます。

今、私たちは地球環境の危機に直面している

地球の限界による地球の状況



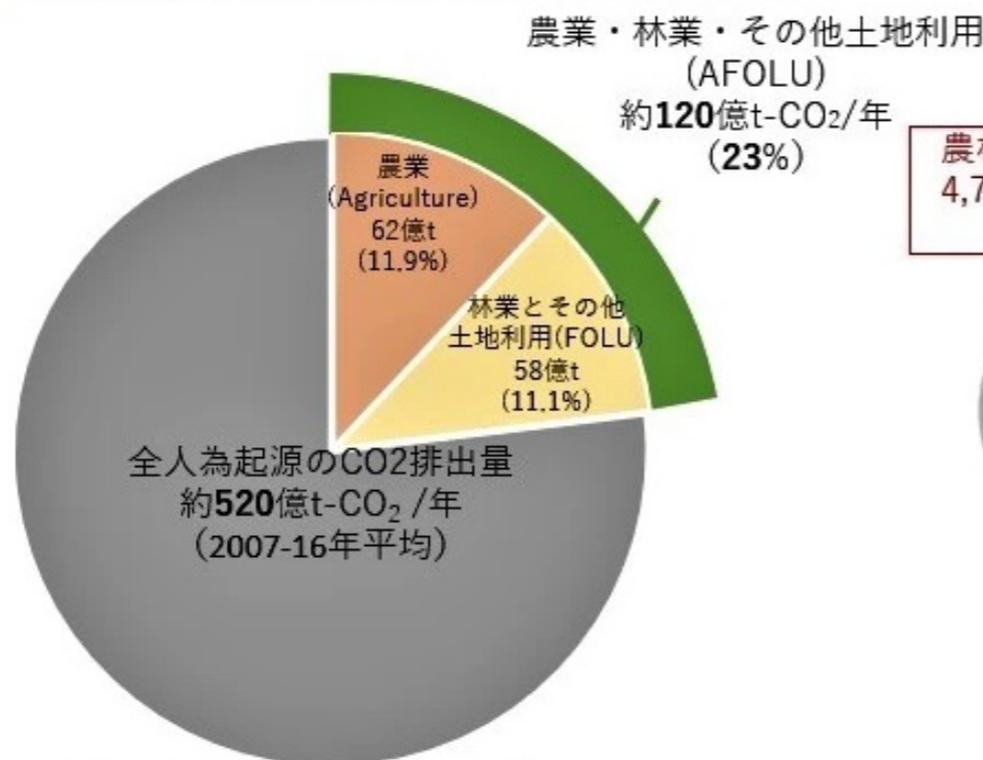
地球の変化に関する各項目について人間が安全に活動できる範囲内にとどまれば、人間社会は発展し繁栄できますが、境界を超えることがあれば、人間が依存する自然資源に対して回復不可能な変化が引き起こされます。

9つの環境要素のうち、種の絶滅の速度と窒素・リンの循環については、不確実性の領域を超えて、高リスクの領域にあり、また、気候変動と土地利用変化については、リスクが増大する不確実性の領域に達しています。

出典：ストックホルムレジリエンスセンター（プラネタリー・バウンダリー）

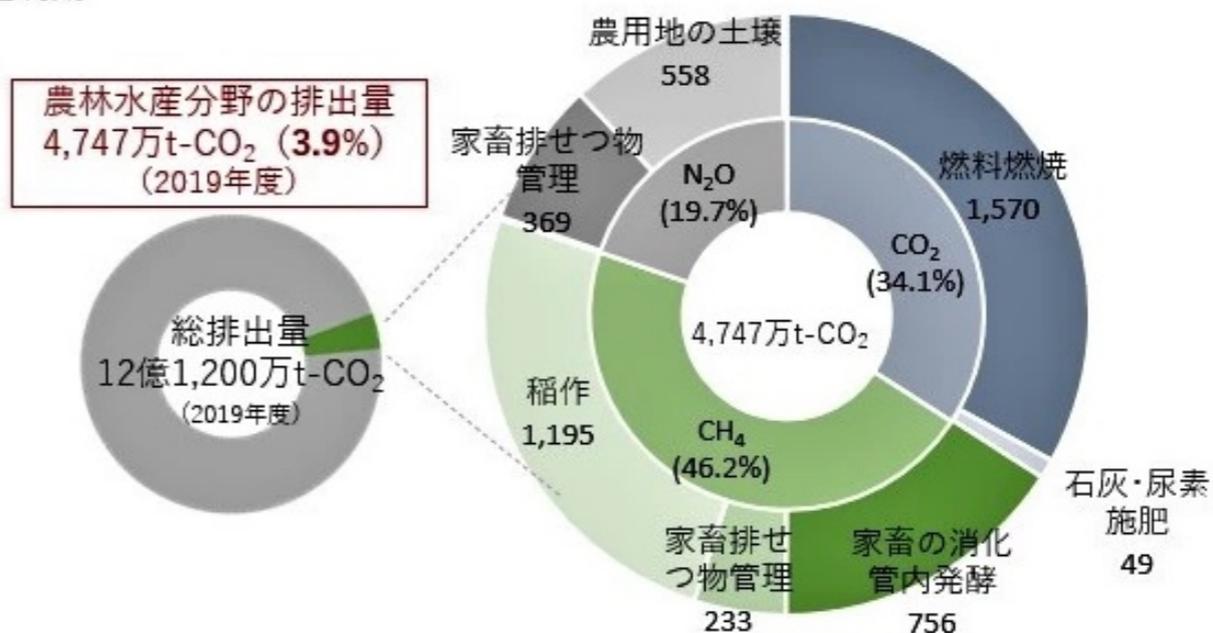
温室効果ガス排出量の状況

■ 世界の農林業由来のGHG排出量



単位：億t-CO₂換算 (2007-16年平均)
出典：IPCC 土地関係特別報告書 (2019年)

■ 日本の農林水産分野のGHG排出量



単位：万t-CO₂換算
* 温室効果は、CO₂に比べメタンで25倍、N₂Oでは298倍。
出典：温室効果ガスインベントリオフィス (GIO)

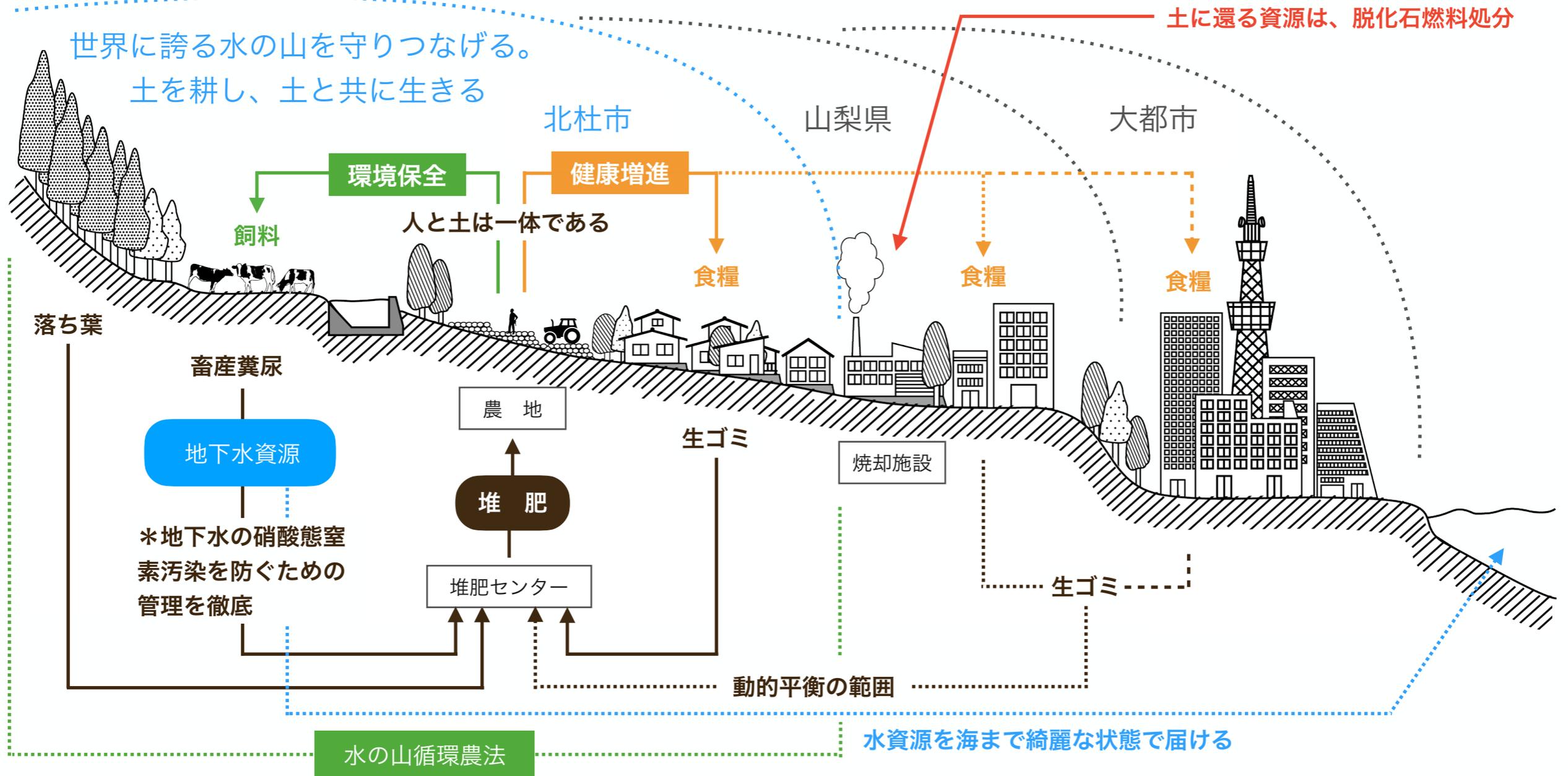
日本における農林水産分野からの温室効果ガス排出量はわずか4%ではありますが、自然と寄り添い営む産業であるからこそ、削減する努力が必要不可欠であると考えております。

特に、温室効果ガスであるN₂O（一酸化二窒素）は、化学肥料に含まれる窒素質肥料が土壌中で分解される過程において排出されるメカニズムであり、みどりの食料システム戦略において30%の削減目標が立てられていると考えております。また、近年中干し期間延長による水田メタン削減技術は、稲藁が土中で水を張った状態で嫌気性であるとき土壌微生物によって発生するメカニズムとなっており、中干し技術だけでなく、藁という有機物の有効活用も視野にメタンガスの削減努力が必要になると感じております。

北杜市がチャレンジする持続可能なプロジェクト

耕す！はぐくむ！チャレンジ北杜プロジェクト

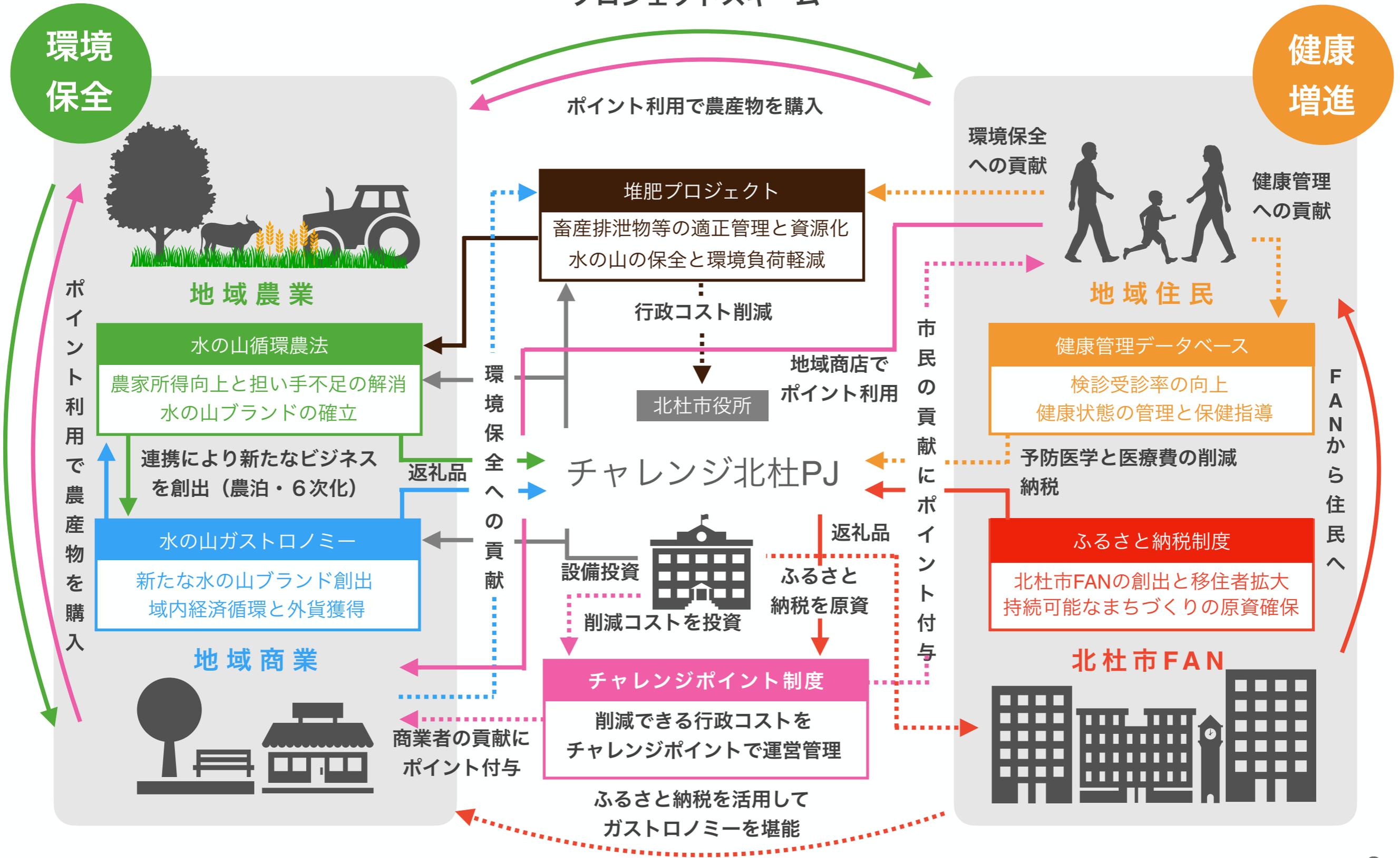
北杜市のこれからの農業が目指す将来像



*市内で生産される畜産堆肥の利用促進を図ることで、野積みや過剰散布などによる地下水の硝酸態窒素汚染の防止を農業という産業の横連携によって築き上げる

耕す！はぐくむ！チャレンジ北杜プロジェクト

プロジェクトスキーム

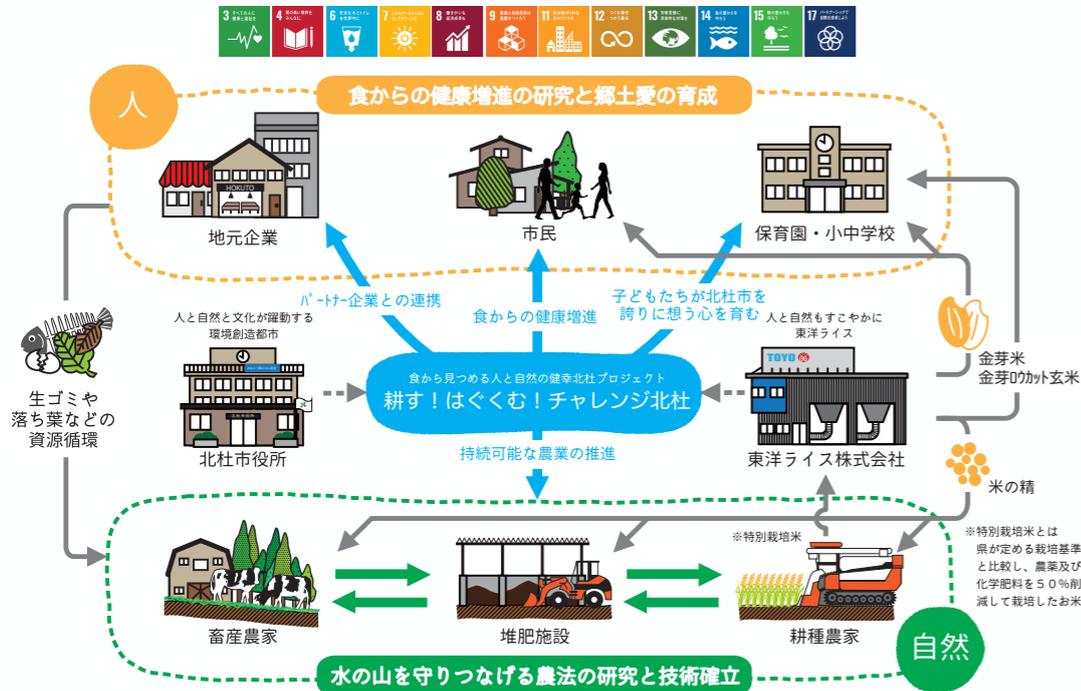


**この壮大なプロジェクトは、
私たち行政の手の届く範囲だけでは
達成することが不可能です。**

耕す！はぐくむ！チャレンジ北杜プロジェクト

これまでの歩み

「北杜市の持続可能な農業」を核とした地域活性化に関する包括連携協定



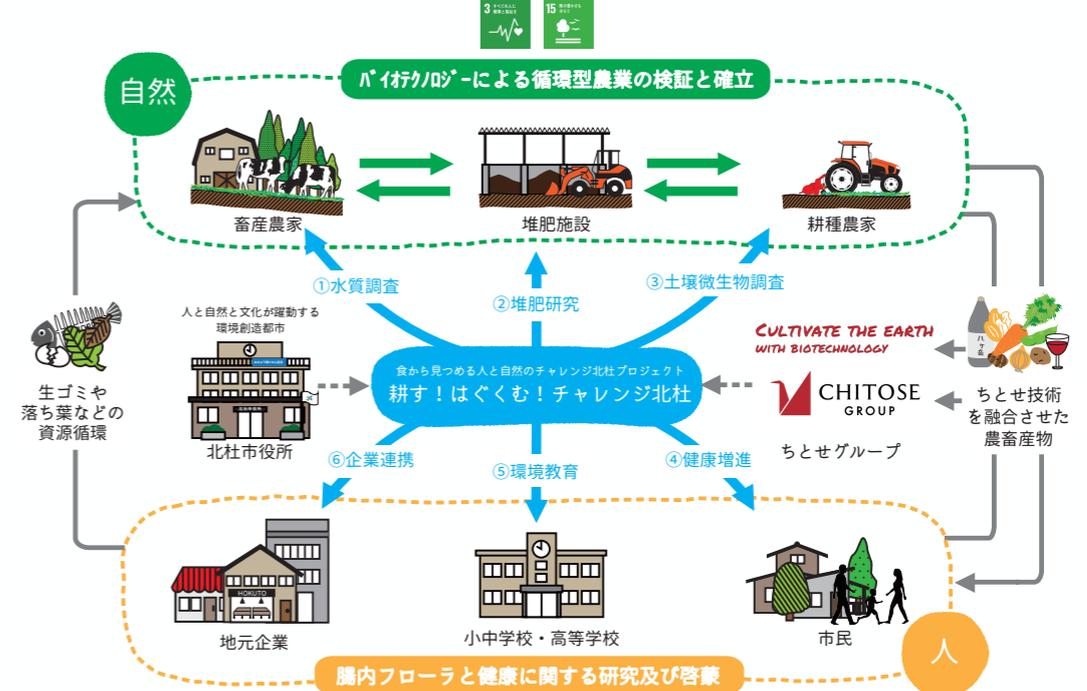
東洋ライス株式会社との連携協定

保育園・学校給食への特別栽培米金芽米導入

水の山に暮らす者の責務として、米の無洗米課程で生成さえる米の精（お米のとぎ汁部分）を使用し、一発剤に使用されるプラスチックコーティングを不使用として、有機肥料の緩効性を利用して水の豊かさを守っている。

令和4年産より、ネオニコチノイド系農薬の不使用
疑わしきものは使用しないを基本理念として、生物多様性が基盤となる農業振興として給食使用米はネオニコチノイド不使用をチャレンジします。

地域資源を活用した循環型社会の実現に関する包括連携協定



ちとせグループとの連携協定

循環型農業に必要な不可欠な中熟堆肥の製造

水の山に暮らす者の責務として、市内から排出される畜産排泄物を主原料とした堆肥の利用促進を図り、温室効果ガスの発生の要因をもたらす化学肥料の削減を目指す。

令和4年産より、未利用バイオマスの堆肥化を模索
現在焼却処分が中心となっている「生ごみ」「農業残渣」などの未利用バイオマスを調査し、堆肥化するための検討会を令和4年に発足させ、気候変動に具体的な対策の一つとして、循環型農業を加速化させる。

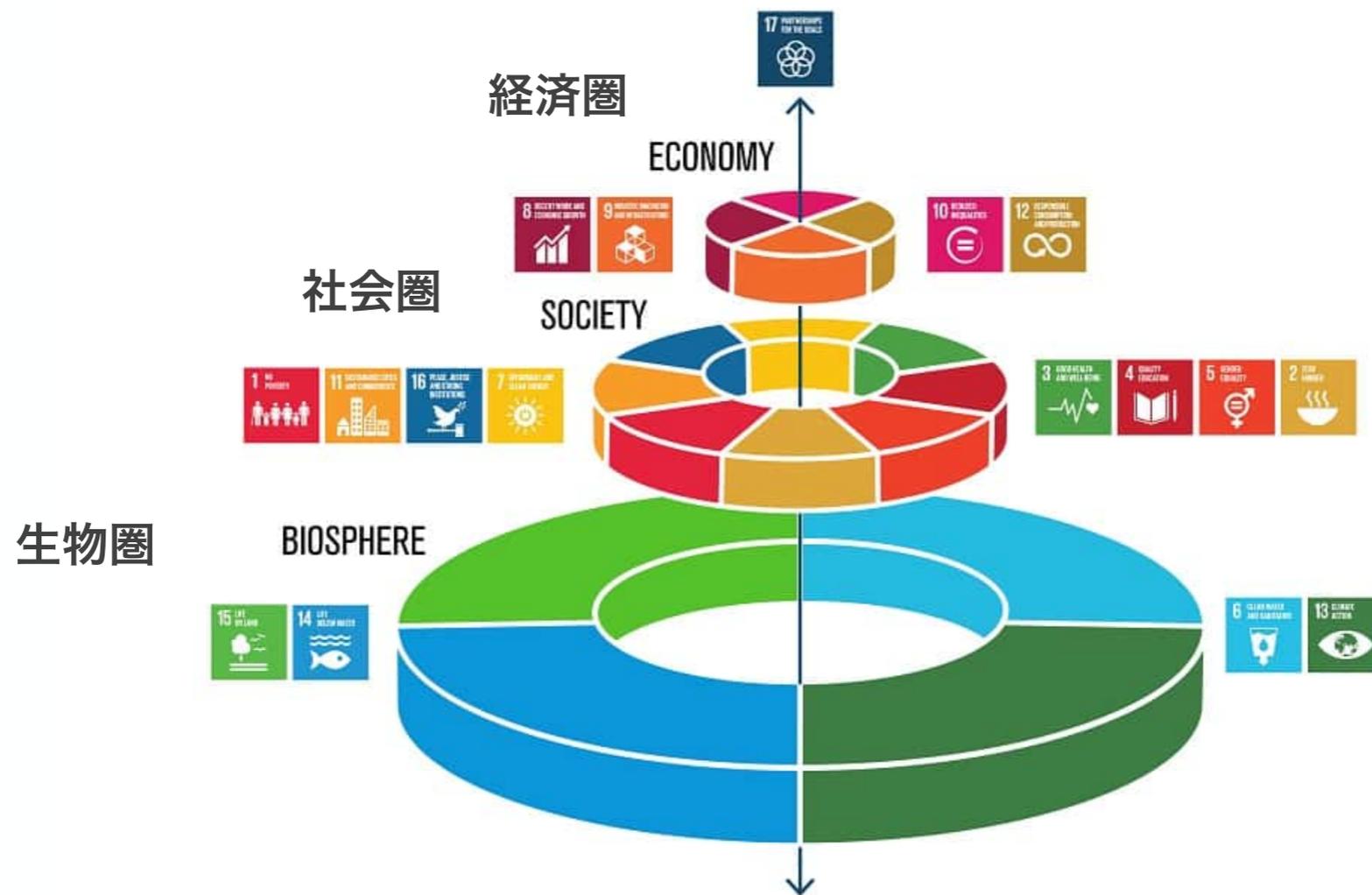
**パートナーシップがなければ
SDGsの達成も持続可能な社会の実現も
達成することが出来ません！**

耕す！はぐくむ！チャレンジ北杜プロジェクト

生物圏の豊かさを、経済圏からつくりあげる

生物圏の豊かさが崩れると社会も経済の存続は不可能となる。

生物圏の豊かさを守るためには、経済圏から少しずつ歯車を変える必要がある。



北杜市をフィールドに農業を営む皆様と

パートナーシップをしっかりと結び

出来ることから確実に進めたいと考えております。

ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。